

1 総括についての評価

・学校は概ね適切に自己評価を行っている。
 ・教員が熱心に学習指導に取り組んでいる点と、生徒の道徳心・社会性育成や健康・体力の保持増進のために、協働して取り組んでいる点は大変評価できる。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【学力の向上】

- ①言語活動の取組みを学校全体で取り入れ、平成27年度の全国学力・学習状況調査における「普通の授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を38%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- ②平成26年度中には、校区小学校と校種や教科を越えた連携を図り、指導法について研修し、相互の授業参観を実施する。(マネジメント改革関連)
- ③テスト前学習に参加する生徒の数を前年度より2%あげる(カリキュラム改革関連)

・目標は概ね達成されている。
 ・教員は、研究授業だけでなく、普通の授業の工夫をしており、その積み重ねが、「普通の授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の項目において、41.6%というように、生徒の評価が年度目標を上回る結果になっていると考えられる。また、次年度は生徒の学習の質を高めるべく、さらに授業の工夫を推し進めるために、研究授業の回数を増やすことが求められる。
 ・テスト前学習の学習に参加する数が増加しており、その点は評価される。だが、数値による年度目標としてテスト前学習の参加人数の増加を設定することにはやや疑問が残る。

年度目標：【道徳心・社会性の育成】

- ①平成26年度末の校内調査において遅刻生徒の数を前年度より減少させる。(カリキュラム改革関連)
- ②平成27年度の全国学力・学習状況調査における「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を93%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- ③平成27年度の全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を33%以上にする。(ガバナンス改革関連)

・目標は概ね達成されている。
 ・教員による指導や取り組みの成果が、遅刻生徒の数の減少に繋がっており、大変評価できる。また、ピアサポート、道徳、福祉体験学習などの取り組みをうまく活かすことで、人の気持ちがわかる生徒の育成につながっており、その点も評価できる。
 ・地域活動に関しては、学校は校内で地域のボランティア清掃を企画するなど、地域に向けた意識の向上に努めているものの、生徒は積極的に地域参加しているとは言いがたい。次年度は、彼らの社会意識を高めるとともに、より積極的な地域参加を行うための取り組みを行うことを期待する。

年度目標：【健康・体力の保持増進】

- ①平成26年度末の校内アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える生徒の割合を83%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- ②平成26年度末の校内アンケートにおける「体調面での自己管理ができています」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える生徒の割合を77%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- ③検診で分かった症状の受診率85%をめざす。(カリキュラム改革関連)

・目標は概ね達成されている。
 ・清掃活動と生徒の自己管理に関する目標については、概ね目標を達成することができている。今後は、さらにそれらを充実するものにしていくとともに、生徒の自己管理に関しては、塾などで生活のリズムが崩れがちな生徒へのアドバイスを継続的に行うことを望む。
 ・教員と保護者の協力により、受診率は目標を達成している。

3 今後の学校運営についての意見

・学校協議会で議論・検討するにあたって、具体的な数値目標と達成数値がわかる資料を準備することを期待する。
 ・目標設定にあたっては、年度内に確認できる目標を設定することを期待する。
 ・数値目標だけでなく、教員が日々の教育実践のなかで観察・評価したことも大切にして、学校運営を行うことを期待する。